地域の明るい未来フォーラム in最上

資料７

地域の明るい未来に向けた大蔵村の取組みについて



令和8年10月23日（金）

大蔵村長　加藤　正美

大蔵村の将来ビジョン

おかえり、なりわい灯す　きよらなる里



令和２年からの10年間で目指す将来ビジョンを３つの基本理念とし
５つの重点プロジェクトを設定しています。

01

おかえり

村の住民も、初めて訪れた人も「おかえり」と迎えます。誰もが安心できる受容の村であり続けます。

02

なりわい灯す

単なる職業ではなく自然や生き方と結びついた持続可能な仕事の在り方「なりわい」の灯をともし続けます。

03

きよらなる里

「きよら」は輝くように美しいという意味。まち・ひと・なりわいの取組みで日本一「きよらなる里」であり続けます。

重要プロジェクト①



みらい

協働による持続可能な村づくり



●関係人口

「日本で最も美しい村」連合や全国棚田（千枚田）サミットを通し、加盟自治体との交流、連携、関係人口創出を推進しています。

●交流人口

豪雪、肘折温泉、四ヶ村の棚田などの地域資源を活用した交流人口の拡大。

PICK UP

◀ おおくら升玉水力発電所

既存の砂防堰堤に穴を開け、水を取り込み、落差で発電をする小水力発電。村の一般世帯をすべて賄うことができる発電量。

重要プロジェクト②



まち

安心できる安全な生活空間づくり



●雪に強い暮らし

日本有数の豪雪地「肘折」がある大蔵村だからこそ、冬でも安心して通学・通勤ができるよう、きめ細かい除排雪を実施しています。

●交通死亡事故ゼロ

令和4年に交通死亡事故7500日を達成。交通安全協会や子ども見守り隊など、交通安全活動に取り組む住民の姿があります。

PICK UP

◀ 村営バス 肘折ゆけむりライン

山交バスの廃止を受け、平成29年4月から肘折温泉と新庄とをつなぐバスを運行。高校生の通学の足にもなっており、年間27,000人以上が利用。

重要プロジェクト③



なりわい ＝しごと



地域の特色を活かした魅力ある産業づくり

●持続可能な農業経営

「農業後継者等の自立支援に関する条例」により若手農業者を支援。新規就農者はベテラン農家が先生となり、マンツーマン指導を実施。

●ホッとできる「肘折温泉」

ゆったりとした時間が流れる温泉地。体験型のイベントも実施し、滞在型の観光を推進。

PICK UP

◀ 農産物加工施設の整備

平成30年に農産物加工施設が完成し、村内初の貸工場として稼働。就労者機会の確保や農産物の付加価値向上につながっている。

重要プロジェクト④



ひと

地域総がかりの人づくり



●子育て環境づくり

出産・子育ての負担を軽減する「誕生祝金」や「入学祝金」。子育て支援住宅の整備、分譲団地の整備。

●郷土愛の醸成と未来を紡ぐ人材育成

村営学習塾「未来塾」、宿泊型体験学習「おおくら松の実塾」、自然体験事業「おおくら葉山塾」、著名人による教育講演会

PICK UP

◀ 美しい村プロジェクト

大蔵中学校の総合学習「美しい村プロジェクト」として実施。修学旅行では東京のアンテナショップで棚田米などの村特産品を販売。

重要プロジェクト⑤



くらし



生涯すこやかに暮らせる地域づくり

●虫歯の多い村から虫歯ゼロへ

山形県で最も虫歯の多い村だった平成7年。おやつ対策やフッ素洗口、ダブルブラッシングで、子どもの虫歯の少ないトップレベルの村に。

●在宅で暮らす選択肢「訪問診療」

生涯村ですこやかに過ごせるよう、村診療所で「訪問診療」を実施。初期医療の充実と高度医療の連携も図る。

PICK UP

◀ 介護予防大会「ピンピンピック」

ふれあいサロンから100人以上が参加する介護予防大会。介護専門職が考案した３つのオリジナル競技を楽しく対抗戦で実施。

今後の展望

役場新庁舎が来年１月に開庁



行政サービス刷新の
スタートライン。
「どうすれば、
この村をよくできるか」

CONCLUSION

住民基本台帳人口の数字のみにとらわれず
関係人口や交流人口、ふるさと住民登録者を増やし
村の持続的な発展を図っていきます。